

第2回授業改善協議会

令和3年9月27日

工藤 克文

大分県教育庁日田教育事務所 所長

は誰でしょう??

“子どもは、未来からの贈りもの”

大事に育てて、未来に返す。

教育＝「教えて育てる」はそのためにある。

任期満了に伴い
令和3年
5月交代



工藤 利明 前教育長



岡本 天津男 教育長

なぜ授業改善？



- 子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く
(キャシー・デビッドソン氏)
- 今後10~20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い
(マイケル・A・オズボーン氏)

子どもに必要な力は？ どんな人財が望まれる？

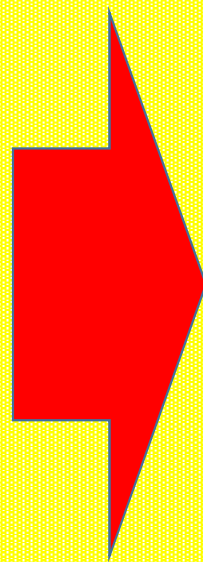
出典：「Society 5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会」 H30

「学校の役に立つ」
県教育庁日田教育事務所

文章や情報を正確に
読み解き対話する力

科学的に思考・吟味し
活用する力

価値を見つけ生み出す
感性と力、好奇心・探求力



技術革新や価値創造の
源となる飛躍知を
発見・創造する人材

技術革新と社会課題を
つなげ、プラットフォーム
を創造する人材

様々な分野においてAIや
データの力を最大限活用し
展開できる人材

「令和の日本型学校教育」構築を目指して

～全ての子どもたち可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～（答申）令和3年1月26日 中央教育審議会 より

「学校の役に立つ」
県教育庁日田教育事務所

急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

社会の在り方が劇的に変わる
「Society5.0時代」
の到来

新型コロナウイルスの
感染拡大など先行き不透明な
「予測困難な時代」



ICTの活用



新学習指導要領
の着実な実施



一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要。

3. 2020年代を通じて実現すべき 「令和の日本型学校教育」の姿

個別最適な学び

指導者目線

個に応じた指導

学習者目線

指導の個別化



学習の個性化



を学習者側の視点から整理した概念

それぞれの学びを往還

協働的な学び

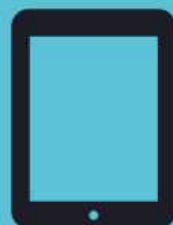
3. 2020年代を通じて実現すべき 「令和の日本型学校教育」の姿

指導の個別化-1

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得

より支援が必要な子供

より重点的な指導などによる効果的な指導



ICTの
活用

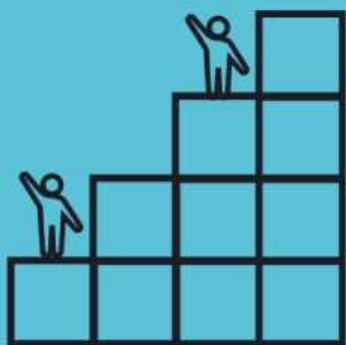


専門性の
高い教師

3. 2020年代を通じて実現すべき 「令和の日本型学校教育」の姿

指導の個別化-2

自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成



子供たち一人一人の
特性や学習進度等に応じて



「自立した学習者」へ



指導方法・教材等
の柔軟な提供・設定

3. 2020年代を通じて実現すべき 「令和の日本型学校教育」の姿

学習の個性化-1

教師が学習活動や学習課題に取り組む機会を提供



教師



基礎的・基本的な
知識・技能等

言語能力、情報活用能力、問題発見・
解決能力等 の学習の基盤となる
資質・能力等

3. 2020年代を通じて実現すべき 「令和の日本型学校教育」の姿

学習の個性化-2

主体的に学習を
最適化することを
教師が促す



「自立した学習者」へ

自ら学習を調整



4. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた 今後の方向性

個別最適な学び×協働的な学び
“ベストミックス”

(3) これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する

ICTや先端技術の効果的な活用



新学習指導要領の着実な実施
個別に最適な学びや支援
可視化が難しかった学びの
知見の共有等が可能

GIGAスクール構想の実現

ハイブリッド化



教師が対面指導と遠隔
オンライン教育とを使いこなす
ことで、学びの質を向上

教師による対面指導や 児童生徒同士による学び合い

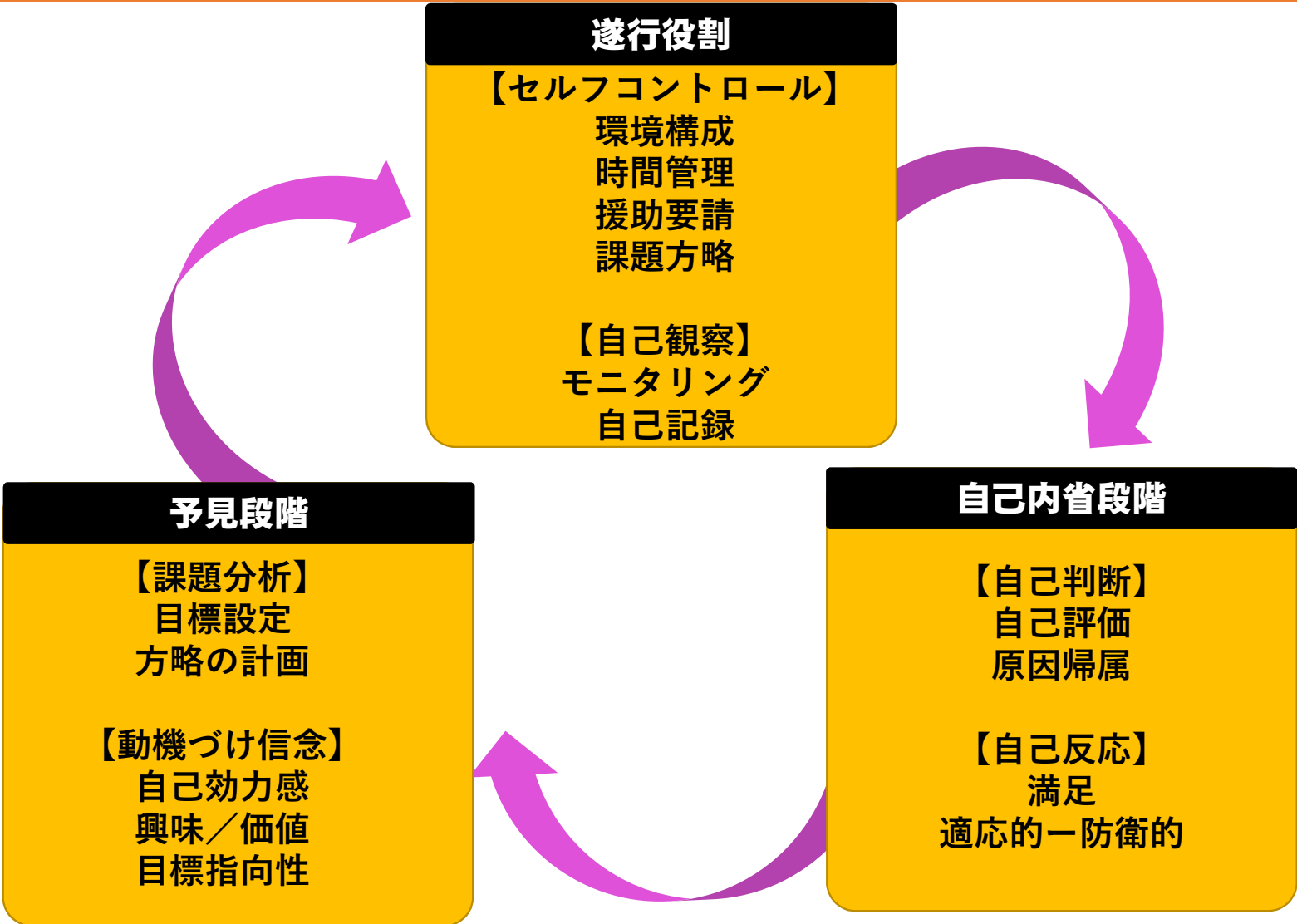


多様な体験活動の重要性が一層
高まる中で、ICTを活用しながら
協働的な学びを実現し、多様な
他者とともに問題発見・解決に
挑む資質・能力を育成

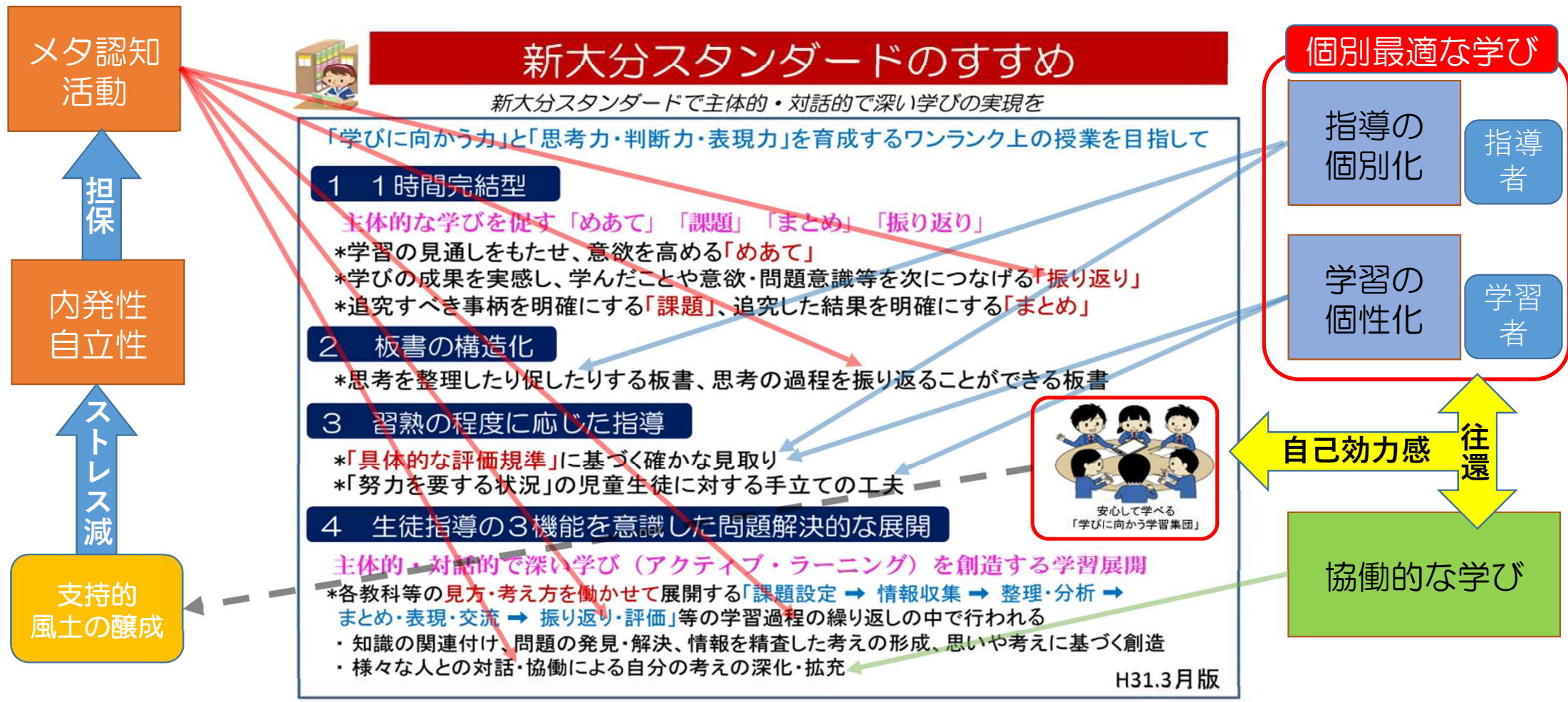
自己調整学習サイクル

(出典：Zimmermann,2011 より作成)

「学校の役に立つ」
県教育庁日田教育事務所



自立した学習者
の育成



なぜ 授業改善？

「学校の役に立つ」
県教育庁日田教育事務所

本日のゴールに向けて

- ・ 授業改善は具体的にどうするの？

～分析(検証・改善)の有効活用を通して～